

## 令和4年度（総務室）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

| 課 題  | 目 標   | 実施結果と目標の達成状況  |
|--|---|---|
| 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）【必須事項】                         | 法令遵守意識をより確固としたものにする。                                    | ○ 職場研修（机上研修）において、法令遵守意識の更なる向上に努めた。<br>○ 研修における啓発等により、目標を達成することができた。   |
| 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須事項】<br>【教育委員会リスク一覧の対象】 | 職場のハラスメントの問題について理解を深め、ハラスメントを未然に防止する。                   | ○ 職場研修（机上研修）において、職場のハラスメントの問題について、啓発を行った。<br>○ 研修における啓発等により、目標を達成することができた。                                    |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策【教育委員会リスク一覧の対象】                     | 情報の管理方法を改めて確認し、重要情報の紛失、漏えい等を未然に防止する。                    | ○ 職場研修（机上研修）において、個人情報の取扱い等について、事例紹介などをしながら、啓発を行った。<br>○ 研修における啓発等により、目標を達成することができた。                           |
| 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）【教育委員会リスク一覧の対象】        | 職員間の情報共有や相互チェック体制を確立し、業務の遅延やケアレスミスを防止する。                | ○ 引き続き、各グループのミーティング等により、職員間の情報共有を図り、進行管理の相互チェックを徹底するなど、協力して業務に取り組むよう努めた。<br>○ 業務執行体制の確保等の取組により、目標を達成することができた。 |
| 財務事務等の適正執行【教育委員会リスク一覧の対象】                              | 財務規則等を遵守した適切な事務手続きを徹底する。                                | ○ 複数職員による進行管理を徹底するなど、財務規則等を遵守した適切な事務手続きに努めた。<br>○ 執行手続きにおける職員間の情報共有に課題はあったものの、目標を達成することはできた。                  |
| 適切な県民対応  | 県民の信頼に応えるため、「職員一人ひとりが県の顔」としての自覚を持ち、県民の視点に立った丁寧な対応を徹底する。 | ○ 職場研修（机上研修）において、言葉づかい、電話対応等について、県民の視点に立ち、丁寧で適切な対応を心掛けるよう、周知徹底を行った。<br>○ 研修における啓発等により、目標を達成することができた。          |

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(所属長意見)

- ・ 令和4年度不祥事ゼロプログラムについて、すべての項目につき目標を達成することができた。
- ・ 令和5年度は、職場研修等を通じて、引き続き職員の法令遵守意識の向上を図るとともに、財務事務等の適正執行、適切な県民対応等に取り組んでいく。